

GELCHOPの レツツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

小鳥の住まいに
ついて考えよう。

Product_name

**Over Self-defensive
Bird House**

Material

- ・スギ板 適量
- ・ビス、釘 適量
- ・紐 適量
- ・迷彩パターンの型紙 3枚
- ・マスキングテープ 適量
- ・缶スプレー塗料 3色 各1本
- ・モデルガン リボルバータイプ 1丁

How to make

- 1 まずは巣箱の設計図を書こう。呼びたい小鳥の種類を特定し、生態を調べ、形状、大きさ、穴のサイズなど、小鳥好みのスペックを落とし込むこと。今回は四十から、あっ間違え、シジュウカラ好みの穴径28mm、スタンダードハウス。
- 2 設計図をもとに木材をカット。小鳥の出入り口、吊るし用の紐穴などは、組み立てる前に先に開けておくこと。
- 3 組み立て開始。木口に木工ボンドを塗り、貼り合わせる。釘やビスで、風雨に負けないようしっかりと固定しよう。はみ出したボンドは濡れ雑巾でしっかりと拭うこと。
- 4 巣箱がカタチになったら、塗装をしよう。木材は、塗料を吸い込むので下地処理

が必要。素地への塗料の吸着性、保護、仕上げ塗料の密着性を上げる塗料を選ぶこと。
5 次はメインイベント、カモフラージュ塗装。配置場所に馴染み、存在をかき消すパターンと色味を使用しよう。

6 好みのパターンが決まったら色数分を紙に出力。コピーの裏面全面にマスキングテープを貼る。切りやすく、紙の強度を上げるのが目的。地道に1色ずつカッターで切り抜く。

7 切り抜いた迷彩型紙を剥がせるスプレーのりで巣箱に貼り、1色ずつ塗り重ねていく。素地を生かしてもOK。

8 最後にモデルガンを止まり木として取り付け。固定するための細工をしたら完成。随分苦労したけど、安心して小鳥は住みつくのか？

オーバー・セルフディフェンシブ・バード・ハウス さて今回は、小鳥に住んでいただきたいという希望を掲げ、巣箱作りにチャレンジ。自然のルールの中で安全を確保し生活し続けている小鳥たちに、信用してもらうのは至難の業。日本の植生で効果を発揮するといわれる迷彩パターンを採用し、止まり木も天敵に対して戦闘的で勇ましい印象を与える形に。努力はしたけど、今のところカモフラージュの巣箱に小鳥が入った形跡はない。目立たないように偽装した戦略的な巣箱が、そもそも安全に見えずに、小鳥も警戒をしているのか？ そうこうしているうちに自分たちで安全な場所を探し、いつもどおりの暮らしを続けているよう。巣箱に小鳥を住ませるには、日頃から小鳥との信頼関係を築くほうが大切らしい。

3.欠陥住宅にならない
ようしっかり固定。



7.カモフラのデザイン
にセンスが問われる。

はみだしのDIY

先日、実家に帰った妻から聞いた話。妻の実家には、もう10年以上毎日餌をあげている小鳥の餌台がある。ある日、何やら、文字の書かれた板が1枚。近づいてみると「小鳥くんへ！ 長い間、美しい姿を見せてくれてありがとうございます。このたび、居住環境の変化のため餌をあげるのをやめることになりました……ゴメンね」と。小鳥に手紙で謝罪をする父に、ついにボケたかと思ったらしく、「どうやら糞が近所で問題になっていたらしい。餌と糞を巡る“糞争”は、これにて一件落着したものの、その後の小鳥くんたちについて尋ねてみると、たまたま手紙の前で首をかしげているらしい。努力はしたけど、今のところカモフラージュの巣箱に小鳥が入った形跡はない。目立たないように偽装した戦略的な巣箱が、そもそも安全に見えずに、小鳥も警戒をしているのか？」 そうこうしているうちに自分たちで安全な場所を探し、いつもどおりの暮らしを続けているよう。巣箱に小鳥を住ませるには、日頃から小鳥との信頼関係を築くほうが大切らしい。

ゲルチョップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリヨウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。最近、動物園で鳥小屋を観察するのが楽しくなりました。微妙な環境の違いに対応していく、それぞれの地味な違いがたまりません。

